

「文化観光局 MICE振興課」

事業名
4款 1項 4目
株式会社横浜国際平和会議場のための損失補償

(単位：千円)

区分	事項	限度額	令和3年度以降の債務保証等予定額	
			期間	金額
新規設定 又は変更後	株式会社横浜国際平和会議場のための損失補償(令和3年度)	2,580,000 市中の金融機関等が株式会社横浜国際平和会議場に融資することにより損失を生じた場合の補償	令和3年度から 令和8年度まで	2,580,000
変更前	株式会社横浜国際平和会議場のための損失補償(令和2年度)	6,005,000 市中の金融機関等が株式会社横浜国際平和会議場に融資することにより損失を生じた場合の補償	令和2年度から 令和9年度まで	6,005,000
増△減		△ 3,425,000		2,580,000

	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和4年度	令和5年度
限度額	7,785,000	7,585,000	6,795,000		2,064,000	1,548,000

【団体の基礎的情報】

① (団体の概要)

- <事業目的> 国際・国内会議及び学術等各種催物、国内外商品等の見本市、展示会を企画、誘致及び開催する。
- <設立> 昭和62年6月3日
- <基本金> 7,565,000千円(うち、横浜市出資額：4,100,000千円 出資割合：24.4%)
- <業務内容> ・国際・国内会議及び文化・学術等催物や展示会の企画、誘致及び開催
・会議施設・展示場・宿泊施設及びこれらに附帯する施設の賃貸及び管理運営

② (団体の経営状況)

R元年度決算 営業収益 8,629,717千円 営業費用 7,852,624千円 営業利益 777,093千円

【損失補償の内容】

③ (借入金の使途) ※借換えの場合はその旨を記載してください
大規模改修工事及び施設維持費

④ (損失補償を行う理由・必要性)

団体が民間金融機関から融資を受けるに際して、本市からの損失補償を条件づけられたため。

⑤ (損失補償額の積算根拠)

<令和3年度資金計画>

	金額	説明
借入金返済額	0	
大規模改修工事等	2,580,000	会議センターを中心とした大規模改修工事等
資金需要額	2,580,000	金融機関からの借り入れ
損失補償額	2,580,000	

	令和2年度分	令和3年度分
設定限度額	6,005,000	2,580,000
借入(予定)額	0	2,580,000
当該年度までの償還額	6,005,000	0
未償還残高	0	2,580,000

令和3年度設定額
2,580,000

⑥ (対象債務の返済の見通しとその確実性)

<本団体に係る損失補償の設定状況> (単位：千円)

NO	設定年度	最終年度	限度額	左のうち借入済額または借入見込額		返済の原資等
				令和2年度未までの償還見込額	令和3年度以降の損失補償等予定額	
1	H11年度	R6年度	3,431,000	3,040,000	3,040,000	0
2	H12年度	R2年度	2,063,000	2,060,000	2,060,000	0
3	H13年度	R3年度	3,125,000	3,120,000	3,120,000	0
4	H22年度	R12年度	2,167,000	2,061,000	2,061,000	0
5	H25年度	R9年度	1,500,000	1,500,000	1,500,000	0
6	H26年度	R9年度	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0
7	H27年度	R9年度	1,800,000	1,800,000	1,800,000	0
8	H28年度	R9年度	1,900,000	1,900,000	1,900,000	0
9	H29年度	R9年度	1,700,000	1,700,000	1,700,000	0
10	R3年度	R8年度	2,580,000	2,580,000	0	2,580,000
				(7) 合計		2,580,000

<対象債務の返済の見通し(各年度の償還額)> (単位：千円)

NO	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	合計
1							0
2							0
3							0
4							0
5							0
6							0
7							0
8							0
9							0
10	0	516,000	516,000	516,000	516,000	516,000	2,580,000
計	0	516,000	516,000	516,000	516,000	516,000	2,580,000

<団体の担保能力及び担保設定状況> ※令和3年度末見込

○担保物件 建物(会議センター、展示ホール、ホテル)

26,644,852千円 ① 前期末-償却費(原価のみ)

○抵当権設定状況

(単位：千円)

借入先	当初設定額	返済額	残高	説明
産業活性化資金等	21,809,000	21,468,300	340,700	会議センター、展示ホール(1・II期)、ホテル
民間金融機関	13,000,000	2,443,400	10,556,600	会議センター、展示ホール(1・II期)、ホテル
計	34,809,000	23,911,700	10,897,300	②

担保余力((①)-(②))×70% 11,023,286千円

★借入金融機関の担保評価については未確認

⑦ (健全性化法の規定に基づき将来負担比率に参入される一般会計等負担見込額)

$$\frac{2,580,000}{\text{損失補償設定額}} \times \frac{\text{R元算定率}}{\text{R元算定率}} = \frac{258,000}{\text{一般会計等負担見込額}}$$

課長	係長	係
坂田 和行	川口 真慈	村井 友美

本資料は、公正・適正に作成しました。